

# 企業関係者と弁理士の知財研究会

## 第7回（2019年度－3）・実施報告書

令和元年10月1日

保科敏夫・鈴木一徳

令和元年9月26日（木）に行われた、企業関係者と弁理士の知財研究会・第7回について、実施報告をいたします。

### 実施したクラス

当初の予定どおり、午後3時半～5時のクラスと午後5時半～7時のクラスの2クラスを実施した。内容は同じである。

### 参加人数

司会・進行の保科及び鈴木を除き、3時半クラス7名、5時半クラス6名。

### 参加者の内訳

#### ① 3時半クラス

企業関係者5名（企業内弁理士2名、弁理士以外3名）、特許事務所2名  
神奈川委員会委員2名、委員以外5名

#### ② 5時半クラス

企業関係者3名（企業内弁理士1名、弁理士以外2名、）、特許事務所2名、その他1名  
神奈川委員会委員1名、委員以外5名

### テーマ

明確性要件（特許法36条6項2号）

### 内容

明確性要件についての最新の論文3本を取り上げ、明確性要件の実務の傾向についてディスカッションを行った。

### 今後の予定

第8回（2019年度－4）令和元年11月28日（木）テーマは、パラメータ発明・数値限定発明①

第9回（2019年度－5）令和2年1月23日（木）テーマは、パラメータ発明・数値限定発明②

第10回（2019年度－6）令和2年3月26日（木）テーマは、共同開発と特許（特に、川上・川下企業間）

第11回（2020年度－1）令和2年5月28日（木）テーマは、「製造業者のノウハウ・知的財産権を対象とした優越的地位の濫用行為等に関する実態調査報告書」を、企業関係者・弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む

以上